

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

閉校記念事業 南之郷中学校OB卓球大会開催



2月19日、南之郷中学校で、この学校の卓球部OBの方々による卓球大会が約90名が参加して開催されました。

南之郷中学校は、約30～40年前卓球がとても盛んで、九州大会や全国大会に数多く出場する、県内屈指の強豪校でした。かつての選手に話をきくと、朝・昼・晩、365日、とても厳しい卓球漬けの毎日だったそうです。



年月が経ち、かつてのきびきびとしたプレーは影をひそめ、「ちょっしもた」や「あいたー」など悲鳴にも似た声があちらこちらで聞かれましたが、皆あの時と違いとてもにこやかにプレーされていました。それでもたまに飛び出す、強烈なスマッシュに往年の名選手の片りんををのぞかせていました。

南之郷中学校は、今年度で閉校ですが、南之郷中で鍛えた精神は、今後も永く引き継がれて欲しいですね。

末吉小学校3年生 ほうき作りに挑戦



2月23日、末吉小学校体育館で3年生が「ほうき作り」に挑戦しました。これは、総合的な学習の時間に、春から秋にかけて自分たちが育ててきたほうき草を使つての活動で、末吉小学校で毎年行われているものです。

当日は、NPOどんぐり谷自然塾（代表者大森貢さん）のメンバーのうち9名が、講師として子どもたちに昔ながらのほうきの作り方を伝授されました。大森さんは、「子どもたちが花壇に苗を植えることから始まり、色づく草に移りゆく季節を感じながら大切に育て、一度役目を終えた草にもう一度命を吹き込む事で、自然のすばらしさや大切さを実感してほしい」という思いから、毎年講師として指導されています。

教わった子どもたちだけでなく保護者の方々もほうき作りは初めての方が多く、悪戦苦闘しながらやっとの思いで作り上げていました。

三島美音^{みおん}さんは、「とても難しかったけど、楽しかった。家でもまた作ってみたいです。」と、きらきらした目で話してくれました。

平成 24 年度は曾於市観光元年



現地研修会（大隅町の笠祇神社で巨木スタジイの説明中）



曾於市観光ボランティアガイドの一部会員

曾於市観光特産開発センター（以下、「開発センター」という。）は、観光振興を一つの業務として取り組んでいます。しかし、曾於市には観光を振興するために必要不可欠であります観光ボランティアガイドが不在なため、開発センターは、平成 23 年 4 月、「曾於市観光ボランティアガイドの会」を 21 名で発足させ、観光ボランティアガイドの養成を行ってきました。

ガイド研修は、①開発センターが主催したガイド研修会（6 回）、②開発センターが実施した観光ツアーでのガイド練習（10 回）、③その他のガイド研修会等で、「観光ガイドとしての心得」「こんな観光ガイドはヤバイぞ」等多くのことを学んできました。

このような中、平成 24 年度は、開発センター独自の観光ツアーだけでなく、旅行業者が実施する観光ツアーが多数企画されています。これは鹿児島中央駅を起点に大型バスが発着するもので、曾於市においても本格的に観光がスタートします。開発センターの吉川所長は、「平成 24 年度は曾於市観光元年だ!」と意気込んでいました。

今後、曾於市観光ボランティアガイドの会員が、観光客に曾於市の素晴らしさを伝え、曾於市民全員が観光客を温かく迎えることが曾於市の観光振興に繋がると思います。

なお、開発センターによると曾於市観光ボランティアガイドの人数（現在 37 名）がまだ不足していますので、観光ガイドを希望される方は開発センターにご相談下さいとのことでした。

「吉井淳二記念展」ガイド付き鑑賞会



曾於市観光特産開発センター（以下「開発センター」という。）は、曾於市出身の故吉井淳二先生の功績を称えること、吉井淳二記念展の多数の優れた作品を多くの人に鑑賞して頂きたいことから、観光ボランティアガイド付きの分かり易い絵画鑑賞会を吉井淳二記念展の開催中である 3 月 3 日・4 日・7 日・10 日の 4 回にわたって実施しました。

初めての企画でしたが、参加者は、曾於市民はもちろんのこと、鹿児島市、鹿屋市、都城市等からも沢山の人が来て下さったとのことでした。

参加者のアンケート結果によると、ほとんどの人がガイド付き鑑賞会は「良かった」と満足していました。

また、感想としては「ガイドの説明が丁寧で、素人にも分かり易かった」「ガイドの説明を聞いて、絵の見方が分かった」「来年も参加したい」など、多くの人に喜ばれたようです。

開発センターによると、参加者が大変喜んで下さったので、来年も実施予定とのことですので、だれでも分かり易いガイド付き鑑賞会に是非御参加下さい。

子供たちの為に環境に配慮した整備



3月15日、末吉町百入団地ほ場整備区域のため池に、どじょうやめだか、ヤゴの幼虫などを放流する体験学習がありました。

これは、ほ場整備した地域の整備する前に生育していた生き物を、整備後も良好な環境の中で住ませるといった環境に配慮した考えを学習してもらうことと、自然のすばらしさや命の尊さを知ってもらい、少しでも農業に関心をもってもらおうと開催されたものです。

当日は、末吉中央幼稚園の年長の園児27名が参加し、きんぎょやおたまじゃくしなど小さな生き物を目をまるまるしながらは見つめ、そっとため池に流しながらも、はしゃぐ姿がとてかわいらしく微笑ましい光景でした。

池田舞姫ちゃんは「池に落ちそうになって怖かったけど、とても楽しかった。大きくなったお魚さん達をまた見にきたいです。」と元気良く話してくれました。

持田先生 地域力表彰受賞



大隅町にお住まいの持田初穂さんが、鹿児島県大隅地域振興局の「おすすみの地域力表彰」を受賞されました。

この表彰は、大隅地域の地域力向上に特に功績のある方を表彰するものです。

持田さんは、平成14年度に「大隅の郷“結(ゆい)”」を設立され、曾於市合併後は、旧3町の地域づくり団体の連携を図るため「曾於市地域づくり団体協議会(ネットワークそお)」も設立されました。(いずれも会長就任。)

また、曾於市まちづくり審議会の会長として、新しいまちづくりに対する提言書を取りまとめ提出されるなど多方面で活躍されています。

立派な自衛官を目指して



3月13日、末吉総合センターで「平成23年度自衛隊入隊者壮行会」が行われました。

平成23年度の曾於市からの自衛隊入隊者は、陸・海自衛隊に6名が入隊。壮行会で入隊者の自己紹介や祝辞が行われた後、新入隊者を代表して清田大地さんが「それぞれの勤務地で立派な自衛官として働くことが周りの方への感謝のしるしだと思いますので、早く国の為に活躍できるよう頑張りたい」と抱負を述べました。

その後、新入隊者から曾於市へ桜の木1本の記念品贈呈が行われ、末吉総合センター駐車場で桜の記念植樹を行い、桜と共に自衛官としてのお互いの成長を誓いました。